



人文学研究科・文学部 国際連携室（豊中）（旧文学研究科・文学部 国際連携室）

国際連携室では、年間を通じて様々な行事や企画を実施しています。留学生だけでなく、当研究科・学部の学生を対象としたプログラムもあります。2025年度には以下の行事を実施しました。

（*は留学生のみ対象）

- **部局間協定校 派遣学生募集** 人文学研究科・文学部協定校へ交換留学する学生の募集です。
留学開始時期に応じて、一年に2回募集します。
2025年度 本募集 2025年8月1日（金）～2025年8月28日（木）
追加募集 2025年12月8日（月）～2026年1月15日（木）
- **タンデム学習プログラム** 留学生と日本人学生のペアでお互いの言語や文化を学びます。
前期と後期にそれぞれのプログラムがスタートします。プログラムの詳細については、Facebook をご覧ください。
Facebook <https://ja-jp.facebook.com/OsakaUTandem>

前期 参加者募集	4月3日(木)～4月30日(水)
合同ガイダンス	5月23日（金）
ワークショップ	6月26日(木)
後期 参加者募集	9月30日(火)～10月31日(金)
合同ガイダンス	11月14日（金）
ワークショップ	12月19日(金)
- **新入留学生オリエンテーション*** 新入留学生を対象としたオリエンテーションです。（参加者数のみ記入）
4月3日（木）参加者：計13名（留学生：9名、教職員4名）。
9月30日（火）参加者：計14人（留学生：10名、教職員2名、タンデム学習2名）
それぞれの開催日に参加できなかった新入生には、後日個別説明を行いました。
- **チューター説明会** 初めて留学生チューターを担当する学生を対象とした説明会です。
前期は5月29日（木）に開催。参加者：4名（教職員、2名を含む；残り数名に個別対応）
後期は 実施無
- **英語集中講座**
研究の国際的通用性や国際的発信力を高めるため、学部生・大学院生を対象とした英語集中講座（IELTS等）を実施しています。学外からネイティブの講師（ブリティッシュ・カウンシルなどから）を招待し、授業をしていただきます。2025年度はオンラインで実施しました。
実施期間：2026年2月16日（月）～2月20日（金） 参加者数:15名
- **英語能力判定試験受験料の補助**
人文学研究科（人文学・基盤日本学・芸術学）・文学部の正規課程の学生に対する留学準備援助の一環として、英語能力判定試験（IELTS、TOEFL）受験料を一部補助する制度です。2023年度より、開始しました。
2025年度は、計5人に対して補助を行いました。
- **留学説明会**
人文学研究科（人文学・基盤日本学・芸術学）・文学部学生を対象とした説明会です。学内選考や留学先大学への申請手続やスケジュール、奨学金についての説明の後、交換留学経験者の体験談を聞き、渡航準備や現地での生活だけでなく、帰国後の就学や就職活動などについての質問にも答えていただきました。
6月9日（月）に実施しました。（参加者：39名＜当研究科・学部の学生：34名、発表者：2名、教職員：3名＞）

- **エラスムス・ムンドゥス ユーロカルチャー・プログラム (EM) 派遣説明会**
エラスムス・ムンドゥス ユーロカルチャー・プログラム派遣奨学生候補募集のための説明会です。毎年、10月中旬ごろに実施しています。2025年度は、EM本部の奨学金の都合で実施しないこととなりました。2026年度は未定です。
- **「ゆめ基金」応募者募集**
交換留学制度を利用する文学部学生を対象とした奨学金です。
2025年6月26日(木)、2026年1月15日(木)を選考基準日として募集し、選考のうえ採用者を決定しました。
- **エラスムス・ムンドゥス ユーロカルチャー・プログラム (EM) 特別講演会**
 - 1) 2025年5月19日(月) グローニンゲン大学(オランダ)の Prof. Ronald Holzhaecker に「Transformative Futures of Cities: Climate and Sustainable Development — Moving from scientific research to societal impact —」と題して英語でご講演いただきました。(参加者: 11名)
 - 2) 2025年10月21日(火) グローニンゲン大学(オランダ)の Arnab Dutta 講師に「Imagining the Pacific in Indian Anticolonialism: A Genealogy of Geopolitics from Pan-Asianism to the Indo-Pacific, 1920s-40s」と題して英語でご講演いただきました。(参加者: 18名)
- **多文化共修 多文化交流会**
「多文化共修」の視点に立ち、年4回、クッキー等を楽しみながら、日本人学生、留学生、教職員と一緒に自由に話し合い、交流できる場を構築することを目的としています。
2025年6月11日(水) 参加者: 計34名(教職員: 4名、学生(留学生を含む): 30名)
2025年7月29日(火) 参加者: 計28名(教職員: 4名、学生(留学生を含む): 24名)
2025年11月25日(火) 参加者: 計4名(教職員: 2名、学生(留学生を含む): 2名)
2026年1月15日(木) 参加者: 計7名(教職員: 2名、学生(留学生を含む): 5名)
- **浴衣・着物教室**
参加者の好みに応じて一着を選んで着付けていただき、思い思いのポーズで写真に納まります。
2025年7月22日(火) 参加学生(留学生を含む): 計18名
2025年12月9日(火) 参加学生(留学生を含む): 計17名
- **国際交流促進のための国際セミナーの開催及び論集の刊行**
当研究科・学部で学ぶ若手研究者が外国語(英語)でそれぞれの研究について口頭発表する機会を作る目的で、年一回国際セミナーを実施しています。2025年度は10月31日にハイブリッドで実施し、国内外の若手研究者による口頭発表および意見交換、討論を行いました。また、各発表者が自身の発表を学術論文として発信できるよう、英語論文集も刊行しています。

今年度の実施案内は HP やポスターなどでご確認ください。
留学プログラムや留学派遣学生の募集情報は HP や KOAN を通じて案内します。

学生派遣・受入れのデータ

留学派遣（2025年3月31日付、既に帰国した者・休学事由「留学」・バーチャル留学を含む）

研究科：6名

学部：15名

在籍学年	
後期3年	1
後期2年	1
後期1年	3
前期/修士2年	0
前期/修士1年	1

渡航先	
オーストラリア	1
カナダ	1
デンマーク	1
ドイツ	1
ブラジル	1
フランス	1

在籍学年	
学部4年	3
学部3年	9
学部2年	1
学部1年	2

渡航先	
イギリス	4
中国	2
ドイツ	2
デンマーク	1
ノルウェー	1
オーストリア	1
ブルネイ	1
カナダ	1
アメリカ	1
チェコ	1

留学生受入れ（2026年3月31日時点での在籍数。休学中、EM参加者は除く。）

研究科		学部	
博士後期課程3年	29	4年	19
博士後期課程2年	13	3年	7
博士後期課程1年	14	2年	6
博士前期課程2年	20	1年	9
博士前期課程1年	19	研究生	22
		特別聴講学生	14
研究生	4		
特別研究学生	15		
特別聴講学生	12		

出身国・地域		
中国	139	フランス、モンゴル、ベラルーシ、デンマーク、インド、ウクライナ、ベトナム、イラン、ポーランド、カナダ、ロシア、コロンビア、スロバキア、アルゼンチン、ドイツ、アメリカ、トルコ 各1
韓国	25	
台湾	7	
ブラジル	5	
ハンガリー、フィンランド、タイ、イギリス、イタリア	各2	

在籍専門分野・コース、専修

	研究科					学部			
	専後期	博士前期	研究生	特別研究学生	特別聴講学生	学部	研究生	特別聴講学生	
哲学哲学史	1	2				哲学・思想文化学	4		
臨床哲学	1					インド哲学			
日本史学	2	1		1		日本史学	3		
東洋史学	1	3	1	2		東洋史学	3	1	
西洋史学						西洋史学			
考古学			1			考古学	1		
日本学						日本学		2	
人文地理学	1					人文地理学	1		
日本語学						日本語学	7	1	
日本文学・日本語史学	15	10	2	1	1	日本文学・国語学	8	6	
比較文学						比較文学	2	3	
中国文学	4	2		8	2	中国文学		1	
英米文学		2				英米文学・英語学		1	
比較・対照言語学コース		1				フランス文学		1	
美学・文芸学	1					美学・文芸学	1	2	
音楽学・演劇学	8	3		1	2	音楽学・演劇学	1	2	
美術史学						美術史学	1	2	
アート・メディア論	2	5		1		アート・メディア論			
インド学・仏教学	1								
						未配属	9	14	
テキスト環境論	4	3			3				
現代日本学	3	4							
基盤日本語学	5	3			3				

日本東洋美術史・西洋美術史	4			1					
科学技術社会論	3				1				
	56	39	4	15	12		41	22	14

教員派遣・受入れのデータ

教員海外出張・研修（2025年4月から2026年3月）

海外出張 延べ45名、78件

中国	15	台湾	6	ベトナム、トルコ、ポルトガル、ブラジル、マレーシア、スイス、スウェーデン、フィリピン、アメリカ	各1
韓国	10	フランス、タイ、イタリア	各4		
イギリス	9	ラオス	3		
ドイツ	8	オーストリア、香港、カナダ	各2		

海外研修 延べ3名、4件

タイ	2
ドイツ、台湾	各1

招へい研究員・招へい教員(外国人)の受入れ（2025年4月から2026年3月）

- メンダズ トレバー ハルヴィ (MENDERS Trevor Harvey) アメリカ 2024年10月1日～2025年9月30日。日米教育委員会 (フルブライト・ジャパン) フェローシップの延長とMetropolitan Center for Far Eastern Art Studiesの博論研究補助金による博論研究 (テーマ・近世初期風俗画における演舞の描写、その解釈) (門脇むつみ准教授受入れ)
- カブレラ・トレシージャ・リズベス・アンジェリカ (CABRERA TORRECILLA Lizbeth Angelica) メキシコ / スペイン 2024年12月1日～2025年11月30日。「崎山多美を中心とする沖縄 / 日本語文学の研究、万博と戦後 / 現代日本社会をはじめとする文化」に関する研究 (渡邊英理教授受入れ)
- 張 竣 豪 (CHANG JUN-HO) 韓国 2025年1月20日～2025年7月20日。「カントおよびヘーゲルの法・政治哲学」に関する研究 (舟場保之教授受入れ)
- 朴 正伊 (JEONG-YI PARK) (辞退)韓国 2025年3月1日～2026年2月28日。「韓日近現代文学における韓日関係史の表象に関する研究：沙也可をめぐる事実と虚構」(宇野田尚哉教授受入れ)
- 朱 喜哲 (JU HEECHUL) 韓国 2025年4月1日～2026年3月31日。科研費 (若手)「推論主義によるELSI領域の理論的基盤提供と応用」(2021年4月-2026年3月)に基づく研究 (嘉目道人准教授受入れ)
- 蔣 宏偉 (JIANG Hongwei) 中国 2025年4月1日～2026年3月31日。「東南アジア地域における開発と熱帯林の変化に関する研究や大学院生及び学部生の指導の補助などを行う」(佐藤廉也教授受入れ)
- 黄 夢鵠 (HUANG MENGGE) 中国 2025年4月1日～2026年3月31日。「和漢兼作作品に関する総合的研究」(滝川幸司教授受入れ)
- 蒲 姣艶 (PU JIAOYAN) 中国 2025年4月1日～2026年3月31日。科研費 (若手)「古今集時代の和歌表現の形成と展開」に関する研究 (滝川幸司教授受入れ)
- 楊 婷婷 (YANG TINGTING) 中国 2025年4月1日～2026年3月31日。「日本に於ける中国古典詩学」に関する研究 (浅見洋二教授受入れ)
- コルドバ アロジョ エステバン (CORDOBA ARROYO Esteban) コスタリカ 2025年4月1日～2026年3月31日。「アジア太平洋戦争を表象する映像メディアへの質的・量的研究」(北村毅教授受入れ)
- 井芹 ジョセフ (ISERI Joseph Kamakua) アメリカ 2025年5月17日～2026年5月16日。日本学術振興会 2024年夏フェローシップ「日本人家族の本読み聞かせ活動における言語社会化のプロセス」に関する研究 (BURDELSKI Matthew James 教授および宇野田尚哉教授受入れ)
- 卞東波 (BIAN DONGBO) 中国 2025年6月18日～2025年8月31日。「日藏漢籍と唐宋文学」に関する研究 (浅見洋二教授受入れ)
- 米爾卡馬力, 阿依達爾 (MIERKAMALI AYIDAER) 中国 2025年8月31日～2026年1月31日。「トウルファン・敦煌出土古代ウイグル語文獻」に関する研究 (松井太教授受入れ)

14. 陶 禹 (TAO YU) 中国 2025 年 10 月 20 日～
2026 年 1 月 10 日. 「日本所蔵漢籍と唐宋文学」に関する研究 (浅見洋二教授受入れ)

15. 董 贇 (DONG YUN) 中国 2025 年 10 月 20 日
～2026 年 1 月 10 日. 「絵画との関係からみた唐宋文学」に関する研究 (浅見洋二教授受入れ)

16. 羅 燕萍 (Luo Yanping) 中国 2025 年 12 月 1

日～2026 年 11 月 30 日. 「日本所蔵漢籍による唐宋文学」に関する研究 (浅見洋二教授受入れ)

17. APRIL WEI-WEST(エイプリル・ウェイウエスト) イギリス
2026 年 1 月 1 日～2026 年 7 月 31 日. 「ポーカロイド
楽典と日本のデジタル技術」に関する研究 (輪島裕介教授
受入れ)

編集・発行 人文学研究科・文学部 国際連携室
〒560-8532 豊中市待兼山町 1-5
橋本 順光・モハンマド モインウッディン・中井 聡
発行日 2026 年 3 月 31 日